



あきらめない心が道を切り開く

——まず事業内容からお聞かせください

昭和63年の設立当初はシステム開発や運用の仕事をしていましたが、平成8年からプロバイダ事業を始めて、全国規模のインターネットサービスプロバイダ「アルファインターネット」を展開しています。今はそれが

メイン事業になっています。ただ、会社も順調にきたわけではなく、ITバブルがはじけた後経営が厳しくなったうえに当時の社長が急逝しまして、どうしようか迷ったんですが社員を路頭に迷わすわけにはいかず、「負けない戦いをすればなんとかなる」と覚悟を決めて、会社を継続しました。

——大変な思いをされましたね

負債が23億円ありましたんでさすがにきつかったです。プロバイダ事業は会員がいる限り継続的に売り上げがあがりますし、私の中ではいけるなという感触がありました。業ではありませんでしたが、危機の時こそリーダーがしっかりリーダーシップを取らなければと考えて頑張ってきました。おかげさまでプロバイダ事業は軌道に乗りましたし、他社との事業提携も進めていきたいと考えています。

提携先は日本だけにこだわらず、広くアジアにも視野を広げて考えています。

——日本には期待できないということですか

そういうわけではありませんが、今の日本にはしっかりした志や先を見通したビジョンを持つリーダーが必要だと思います。今までの延長で流されている人が多いと

思うんです。私はアジア太平洋地域34億人を相手に視野を広く持って、仕事をしていこうと考えています。日本国内でパイを取りあっても先がないと思うんです。パイがないなら創っていかないと大手には勝てませんし生き残れませんよ。

——今の日本を元気にするにはどうすればいいでしょう

どんなにつらいことがあっても、決してあきらめなければ道は開けるということを皆さんに伝えたいです。死にたいと思うほどのことがあっても希望を持って何としてもやってみようという信念があれば何とかかなると思います。そのへんのことは弊社のHP (<http://www.alpha-gri.co.jp/>)にある「日本の社長インタビュー」に私の実体験が書いてありますので興味のある人は読んでみてください。

■インタビュアー



是永英治

(株)コンフィデンス
代表取締役